

すべての子どもを対象とした 個別の計画作成に向けた仕組みの構築 -特別支援・発達支援分野・海外の取り組みから-

2021年12月3日 産業構造審議会
株式会社LITALICO/ 国士舘大学
博士（障害科学）
野口 晃菜

発表の流れ

- ① 特別支援教育における個別の計画の作成の現状と課題
- ② LITALICOにおける個別の計画の作成・運用のための体制
- ③ 海外の通常の学級における個別最適化の例
- ④ 学校における個別計画の作成・運用のための提案

特別支援教育の現状

義務教育段階の全児童生徒数：989万人

減少傾向



特別支援学校

0.7% (約7万2千人)



平成19年比で1.2倍

小中学校

特別支援学級

2.4% (約23万6千人)

(学校教育法第22条の3に該当する児童生徒：約1万8千人)



平成19年比で2.1倍

通常学級

通級による指導

1.1% (約10万9千人)



平成19年比で2.4倍

発達障害の可能性のある児童生徒の6.5%の在籍率

(学校教育法第22条の3に該当する児童生徒：約2千人)



約

10.7%

増加傾向

※ を除く数値は平成29年5月1日時点

https://www.mext.go.jp/content/20200109-mxt_tokubetu01-00069_3_1.pdf

特別支援教育の現状

	学級編成 定数措置	教育課程	個別の計画	教員免許
通常の学級	40人 ※小1は35人	通常の教育課程	必要に応じて（義務ではない）	小中学校の教員免許 ※2019年度より特別支援教育1コマ必修化
通級による指導	【小・中】 教師1人にあたり 担当児童生徒13人 【高】 加配措置	通常の学級の教育課程 ＋自立活動 【小・中】週1～8コマ以内 【高】年間7単位以内	作成義務	
特別支援学級	8人	通常の学級と同じ教育課程＋自立活動、特別な教育編成	作成義務	特別支援学校教諭免許保有が望ましい （平成30年度 取得率30.8%）
特別支援学校	【小・中】 6人 【高】 8人 【重複】 3人	各教科等＋自立活動、障害の程度によっては自立活動を中心とした指導。障害の状態等に応じた弾力的な教育課程が編成可。	作成義務	特別支援学校教諭免許保有が必須 （平成30年度取得率79.8%）

※合理的配慮はどの場においても提供義務あり。 ※各学校特別支援教育コーディネーターを配置（任）

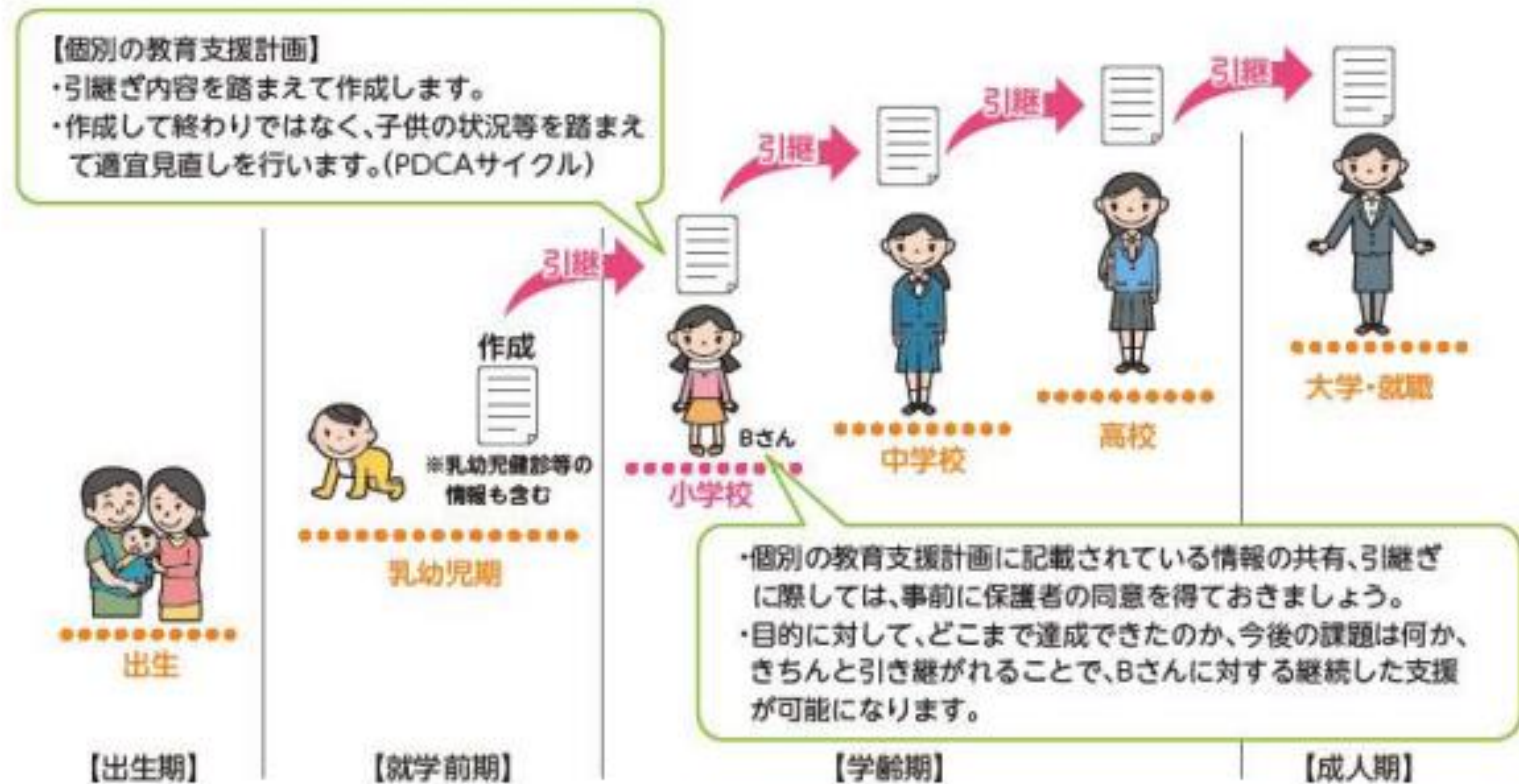
知的障害特別支援学級に在籍する 子どもの時間割例

	月	火	水	木	金
1時間目	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2時間目	国語	国語	国語	国語	国語
3時間目	算数	生活単元学習	算数	生活単元学習	図工（交流）
4時間目	音楽（交流）		体育（交流）		
給食・掃除	交流	交流		交流	
5時間目	体育（交流）	算数	遊びの指導	算数	音楽（交流）

個別の教育支援計画

個別の教育支援計画

子ども・保護者の願い、障害によるニーズ、支援内容、相談歴、など子どもについて関係者で情報共有を・引継ぎをするための計画



個別の教育支援計画の参考フォーマット（文科省，2021）

個別の教育支援計画の参考様式

【プロフィールシート】（記入例）

1. 本人に関する情報

①氏名	フリガナ	モンカ タロウ	②性別	男	③生年月日	平成26年5月5日
		文科 太郎				
④園・学校名	〇〇市立A小学校				⑤学年・組	1年1組
⑥学校長名	□山 △美					
⑦学びの場	☒ 通常の学級 ☒ 通級による指導（ <u>自校</u> 他校・巡回） 障害種別：発達障害 ☐ 特別支援学級 障害種別： ☐ 特別支援学校 障害種別：					
	主障害				他の障害	
	診断名					
	手帳の取得状況		手帳（年 月 交付）		等級	
⑨教育歴 （在籍年月日）	幼稚園等	園名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
	小学校段階	学校名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
		学校名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
	中学校段階	学校名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
		学校名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
	高等学校段階	学校名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
		学校名：（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）				
	検査名		検査名		備考	
実施機関		実施機関				
実施日		実施日				
結果		結果				
資料	☐ 有 ☐ 無	資料	☐ 有 ☐ 無			
⑩検査						

個別の教育支援計画の参考フォーマット（文科省, 2021）

2. 家庭に関する情報

①住所	〒×××-▲▲▽▽	②保護者	
	〇〇市緑ヶ丘1-2-3		
③連絡先	☎090-××××-▲▲▲▲ ()	☎	()
	☎ ()	☎	()
④備考			

3. 関係機関に関する情報

①支援を受けた日（期間）	②機関名	③担当者名	④主な支援・助言内容等
R2. 7. 1~R3. 3. 31	緑ヶ丘児童発達支援センター	×〇	

4. 備考

--

個別の教育支援計画の参考フォーマット（文科省, 2021）

個別の教育支援計画の参考様式

小学校入学時の例

【支援シート（本年度の具体的な支援内容等）】（記入例）

1. 本人に関する情報

①氏名

(フリガナ)	モンカ	タロウ
	文科	太郎

②学年・組

1年1組

③担当者

担任	通級指導教室担当	特別支援教育 コーディネーター		
〇〇〇〇	●●●●	□□□□		

※ 本計画の作成（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）にかかわる全ての者を記入すること。

④願い

本人の願い	・本を上手に読めるようになりたい。（R3.4.30） ・落ち着いた気持ちで、学習に参加したい。（R3.4.30）
保護者の願い	・音読に自信をもって取り組んでほしい。（R3.4.30）

⑤主な実態

学校・家庭 でのようす	得意なこと 好きなこと	・習い事（体操）には休まず通っている。（家庭） ・絵本の読み聞かせが好き。（家庭） ・友達との関係は良好で、休み時間には一緒に遊んでいる。（学校）
	苦手なこと	・文字だけの本は読みたがらない。（家庭） ・音読では、文節を意識しないで読むことが多い。（学校） ・文章を読んで理解することが苦手である。（学校） ・音読や文章題の宿題に時間がかかる。（家庭）

※「苦手なこと」の欄には、学校生活、家庭生活で、特に支障をきたしている状況を記入すること。

個別の教育支援計画の参考フォーマット（文科省, 2021）

2. 支援の方向性

① 支援の目標	・単語や文節を意識しながら音読するような方法を身に付けることができる。
② 合理的配慮を含む支援の内容	
①-1-2	学習内容の変更・調整 ・読む量を減らし、本人の負担にならない程度の量に調整する。
①-2-1	情報・コミュニケーション及び教材の配慮 ・単語や文節のまとまりが分かりやすいように補助線や区切り線を引かせる。
②-1	専門性のある指導体制の整備 ・通級指導教室と連携し、視覚認知能力を高める指導の充実を図る。

※（上段：青枠）必要な合理的配慮の観点等を記入、選択すること。

（下段：白枠）上段の観点等に沿って合理的配慮を含む支援の内容を個別具体的に記入すること。

③ 支援の目標に対する関係機関等との連携	関係機関名		支援の内容
	□□病院作業療法（担当**OT：月2回）		ビジョンセラピー（眼だけで追視する訓練）
	放課後等デイサービス（担当**指導員：月～金放課後）		読書（合理的配慮①-2-1）

個別の教育支援計画の参考フォーマット（文科省, 2021）

3. 評価

① 支援の目標の評価	・音読の前に、自分から補助線や区切り線を引き、それらを手がかりに音読に自信をつけている。 ・学校の取組を保護者に伝え、家庭でも同様の方法で音読することを認めてもらうことで、保護者の称賛もあり、自信につながっている。（R4.3.1）
② 合理的配慮を含む支援の内容の評価	【①－1－2】は、引き続き、同様の合理的配慮が必要である。 【①－2－1】は、本人に定着し、音読課題は見られず、合理的配慮としては必要なくなった。 【②－1】は、引き続き、学年が上がリ、複雑な画数による新出漢字への対応から、通級指導教室と連携した指導は必要である。（R4.3.1）

※年度途中に評価する場合も有り得るので、その都度、評価の年月日と結果を記入すること。

4. 引継ぎ事項（進級、進学、転校）

① 本人の願い	・落ち着いた気持ちで、学習活動に参加したい。
② 保護者の願い	・物事に最後まで取り組んでほしい。 ・通級指導教室は継続して利用したい。
③ 支援の目標	・漢字に関しては、2年生においても同様の支援目標が必要である。 ・本人・保護者の願いにもあるが、長い時間集中することが苦手であるため、2年生における支援の目標としたい。
④ 合理的配慮を含む支援の内容	①－1－2、②－1は、引き続き、必要であると思われる。
⑤ 支援の目標に対する関係機関等との連携	・ビジョnteラーについては引き続き取り組みを続ける必要がある。 ・学校における合理的配慮と連携して取り組みを進める必要がある。

5. 備考（特に配慮すべき点など）

- 保護者は、新しい生活と学習への適応状況について強い不安を抱きやすいので、学校での様子は、定期的に連絡し、伝えるようにする。

6. 確認欄

このシートの情報を支援関係者と共有することに同意します。

年 月 日

保護者氏名

このシートの情報を進学先等に引き継ぐことに同意します。

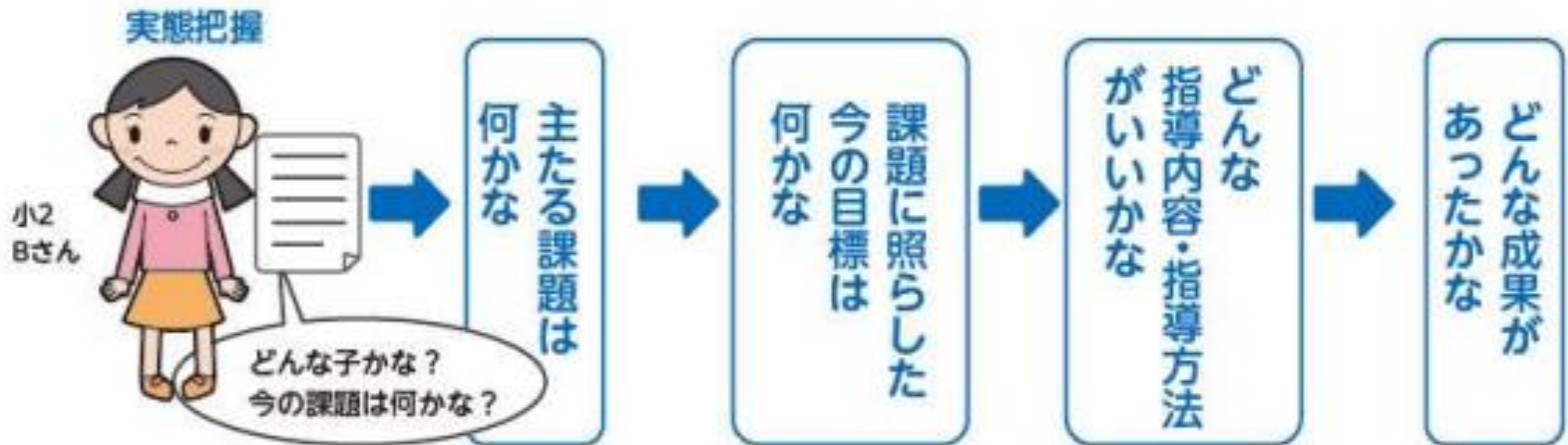
年 月 日

保護者氏名

個別の指導計画

個別の指導計画

学年ごとや学期ごとに、一人一人の指導目標、指導内容及び指導方法が記載される具体的な計画



個別の指導計画のフォーマット例（特総研・通級による指導）

○ 月				
指導場面		指導内容	指導のねらい	支援の手立て
小 集 団 指 導	朝・ 帰 り の 会	当番活動 持ち物調べ 予定の確認 ふりかえり	・ 係の役割を意識する。 ・ 二人組で協力して活動する。 ・ 自分の持ち物を意識して管理する。 ・ 学習の予定をプリントに書き、一日の見通しをもつ。 ・ 自分の行動の一日をふりかえる。	・ 手順表などの視覚的な手がかり ・ リストや図を活用 ・ 一時間ずつ確認 ・ ふりかえりシート
	社 会 的 ス キ ル	絵画配列 (お話づくり) ジェスチャー	・ 時間の推移や因果関係がわかり、簡単なお話をつくる。 ・ ことばを使わずに身体表現で相手に伝える。 ・ 出題者に注目して解答する。	・ 「そして」「それから」等指導者が接続詞を補足 ・ 話さないためのマスク ・ 伝わりやすいモデル ・ ステージなどの活用
	集 団 遊 び	カードゲーム フルーツ バスケット	・ 相手を意識して活動する。 ・ 順番やゲームのルールを守る。 ・ 勝ち負けに対して適切に対応する。 ・ ルールに従って活動する。	・ 順番を番号等で明示 ・ 個人用のルールカード ・ 適切な対応を評価 ・ ルールを大きく表示
		動物歩き	・ 全身を使いバランスよく運動する。	・ 側で身体の動きを補助



～障害のある子と家族をもっと元気に～ 概要

1. 教育と福祉との連携に係る主な課題

学校と放課後等デイサービス事業所において、お互いの活動内容や課題、担当者の連絡先などが共有されていないため、円滑なコミュニケーションが図れておらず連携できていない。

2. 保護者支援に係る主な課題

乳幼児期、学齢期から社会参加に至るまでの各段階で、必要となる相談窓口が分散しており、保護者は、どこに、どのような相談機関があるのかが分かりにくく、必要な支援を十分に受けられない。

今後の
対応策

1. 教育と福祉との連携を推進するための方策

- ・教育委員会と福祉部局、学校と障害児通所支援事業所との関係構築の「場」の設置
- ・学校の教職員等への障害のある子供に係る福祉制度の周知
- ・学校と障害児通所支援事業所等との連携の強化
- ・個別の支援計画の活用促進

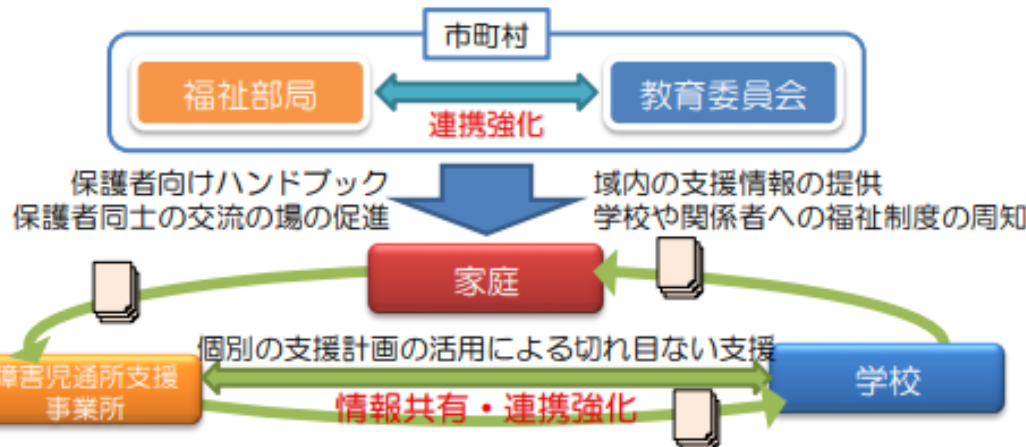
2. 保護者支援を推進するための方策

- ・保護者支援のための相談窓口の整理
- ・保護者支援のための情報提供の推進
- ・保護者同士の交流の場等の促進
- ・専門家による保護者への相談支援

【具体的な取組例】

(厚生労働省)
・放課後等デイサービスガイドラインの改定

・障害福祉サービス等報酬改定で拡充した連携加算を活用し、学校との連携を更に推進。



(文部科学省)
・個別の支援計画を活用し、切れ目ない支援体制を整備する自治体への支援

・保護者や関係機関と連携した計画の作成について省令に新たに規定

特別支援教育における個別の計画のポイント

- 個別の教育支援計画において各関係者の共通理解と情報の引継ぎがなされる。
- 個別の指導計画においては学期ごとの具体的な目標とその目標を達成するための障害特性に応じた手だてが記載される。
- 子どもと保護者の願いを踏まえて目標が設定なされる。
- 子どもについて多角的なアセスメント（情報収集と分析）がなされた上で目標設定がされる。

特別支援教育における個別の計画の課題

- ・ 通常の学級におけるノウハウ不足・通常学級は義務ではない
- ・ 子ども本人の願いが置き去り
- ・ 特に新任者は計画の作成方法が分からない
- ・ 年度頭に全員分作成するための負担が高い
- ・ 様式が自治体や学校ごとに異なる
- ・ 作成するものが目的になってしまっており口々に汗かされ

学習者視点の不在・質のばらつき
形骸化・高負担
インクルーシブ教育のノウハウ不足

発表の流れ

- ① 特別支援教育における個別の計画の作成の現状と課題
- ② LITALICOにおける個別の計画の作成・運用のための体制
- ③ 海外の通常の学級における個別最適化の例
- ④ 学校における個別計画の作成・運用のための提案

LITALICOジュニア

■ 事業内容

- ・ 児童発達支援：未就学
- ・ 放課後等デイサービス：学齢期
- ・ 訪問支援：未就学＋学齢期
- ・ 学習教室：未就学＋学齢期

■ 在籍生徒数

8,500名

※待機者数：12,000名

■ 事業所数

137事業所(関東/関西/東海)

■ 訪問小学校数

724校（2021年9月実績）

■ 支援形態・内容

- ・ 平均週1～2回通所、学校や園に訪問支援
- ・ 個別支援/ペア/小集団
- ・ 必要なスキル群に基づいて計画作成





個別支援計画サポートシステム

ICT を活用し、障害のある子どもへの個別化した教育の提供をサポート



①多面的なアセスメント
(行動やスキル等)



②目標と指導のポイント
をレコメンド



③目標に応じた教材や
プログラム、指導動画を提示

- アセスメントに基づく個別支援計画の作成に関し、専門的な見地からのレコメンドにより計画と指導内容の質的水準を確保
- 計画作成や教材作成に関する支援者の負担軽減
- 将来的には学校・家庭での様子、医療や福祉機関の記録を集約し情報共有を効率化

LITALICOジュニアの支援体制

- ・ 児童発達管理責任者の役割：個別支援計画の作成責任者・保護者への提示、保護者面談など
 - ・ 支援員の役割：直接支援、個別支援計画草案作成、保護者相談対応など
- ※通所のタイミングが一人ひとりずれるため一度に作成するわけではなく、だいたい月4～5名の計画作成

名の計画作成	登録者数	支援員の数	一人あたりの担当
児童発達支援 (未就学) 週1～2回教室通所	50～60名	7～8名 児童発達管理責任者：1名 児童指導員6～7名	・ 児童指導員一人あたり担当者6～7名 ・ 児童発達管理責任者一人あたり50～60名
放課後等デイサービス (学齢期) 週1～2回教室通所	50～60名	7～8名 児童発達管理責任者：1名 児童指導員6～7名	・ 児童指導員一人あたり担当者6～7名 ・ 児童発達管理責任者一人あたり50～60名
保育所等訪問支援 (未就学＋学齢期) 保育園・幼稚園・学校に月2～8回訪問支援	267名	64名 児童発達管理責任者：4名 児童指導員：60名	・ 児童指導員一人あたり約6名 ・ 児童発達管理責任者一人あたり約40名

LITALICOジュニアの支援体制

- 児童福祉法による福祉事業として運営しているため、国が規定している支援体制や要件がある。
- LITALICOの場合はそれにプラスして社内独自の支援体制や研修体系を構築している。

児童発達管理責任者

- 資格あり
- 5～8年以上の実務経験



教室長（社内独自）

育成担当者（社内独自）



児童指導員

- 2年以上の実務経験or資格保持者（保育士や教員免許など）

そのほか

- 複数教室を統括するマネージャー
- 困難な状況を共に解決するスーパーバイザーチーム



LITALICOジュニアの支援体制

- 等級1～8、約45項目の要件を満たせば等級があがる
- 児童発達管理責任者コース、指導員コース、訪問支援員コース、マネージャーコース、スーパーバイザーコースの5コース
- 集合型研修はほぼなく、OJT、スーパービジョン

例) 指導員コース

	等級 1	等級 2	等級 3
アセスメント（情報収集と分析など）	・ヒアリングや行動観察で得られた情報を元に、子どもと保護者が抱える困難さを具体的に説明できる	・ヒアリングや行動観察で得られた情報を元に、子どもと保護者が抱える困難さの背景要因の仮説を5つ以上立てることができる	・ヒアリングや行動観察で得られた情報を元に、子どもと保護者が抱える困難さの背景要因を個人因子と環境因子に分け整理し、根拠のある仮説を立てることができる
計画（目標設定・手だての考案・合意形成など）			
子どもへの指導（達成度の表か、反応の検知など）			

支援体制構築のポイント

- 支援をするにあたり、求められるスキル要件を明確にする（スタッフにも個別の計画を）
- 確実にスーパーバイズなど助言が得られる体制をつくる（一人で抱え込まない）
- システムが担えるのは、構造化（整理）や、選択肢の提示、選択肢の絞り込み。最終的にそれらの選択肢から選んで決定するのは人。
- 子ども自身・保護者と相談の上、計画を作成をする。
- 計画が指導案・指導記録に反映され、計画に対してのログを記述できるようにしている。

【参考】LITALICO 学校版 個別の学びシステム

計画作成



目黒花子

メニュー

ホーム 学びプラン2022年度 李田莉子さん

学びプラン

2022年度

新年度学びプラン作成 +

年度別学びプランの履歴

学びプランTOP

児童生徒情報

▼ 帳票作成

保護者アンケート

アセスメント

プロフィールシート

個別の教育支援計画

年間評価・引継ぎ

個別の指導計画

1学期



李田 莉子 りたりこ

(女) 2011年 05月 05日 生まれ 5年3組

児童生徒情報を編集



莉子さんの願い：

未登録



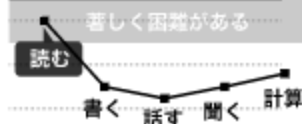
感覚の特性



最終更新：2022/05/13 16:42



学習面の困り



最終更新：2022/05/13 16:42



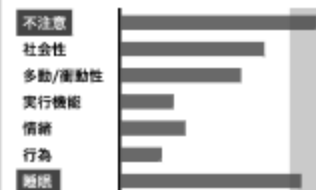
習得目標スキル

- 学習面
 - 文章表現をする
 - 事実の読み取り
 - 文字を読む
- 生活面
 - 整理整頓・持ち物管理
 - 異い物・金銭管理
 - 姿勢・移動
- 対人面
 - 気持ちや思考との付き合い方
 - 活動や遊びのルール・手順理解
 - 場面に合わせた伝え方

最終更新：2022/06/04 15:32



行動の特性



最終更新：2022/05/13 16:42

莉子さん の帳票作成

© LITALICO Inc.

【参考】LITALICO 学校版 個別の学びシステム

- ・ 通級・特別支援学級の子どもの対象とした計画作成システム
- ・ 2020年度20自治体でトライアル
- ・ 2021年度から本格導入



【教育委員会の担当者様からのコメント】

サービス	観点	具体的なコメント
計画作成	見立て客観性	・ 特に新任教員にとってのガイドとなっています。新任教員ですとどのような観点から児童生徒を見立てるべきかわからず、アセスメントが属人的になりがちところを、LITALICOのアセスメントを導入することで、見立ての質担保につながる。
	目標の具体性	・ 細分化されたリストに基づき、具体的な目標設定ができることが非常に有用。評価がしにくいからこそ、具体的な目標を立てて振り返る必要があると感じる。
	引継ぎ・共有	・ 学年、学校間によって計画情報を引き継ぐことが難しかったが、本ツールを導入することで、引継ぎや共有が簡易になることを期待する。
教材 研修動画	個別最適化	・ 一人一人の教育的ニーズ、特性に合わせた教材を学校現場に提供できる。
	業務効率化	・ LITALICOの教材を活用することで、授業準備の負担が軽減される。

発表の流れ

- ① 特別支援教育における個別の計画の作成の現状と課題
- ② LITALICOにおける個別の計画の作成・運用のための体制
- ③ 海外の通常の学級における個別最適化の例
- ④ 学校における個別計画の作成・運用のための提案

多層型支援の導入

(アメリカ・フィンランド)

- 子どもを通常教育ー特別支援教育ときっぱり分けない
- 通常教育そのものを多様性を前提としたシステムにする。
すべての子どもに対して個々のちがいを前提としたユニバーサルな働きかけや可能な限りの個別最適化が行える体制を整える。
- その上でさらに支援が必要な子どもに対して、必要な分支援を足していく。
- どの子どもにどの層のどの支援が必要か？についてはデータを参考にして意思決定をする。
- 通常教育で十分に支援をしたエビデンスがないとプラスアルファの支援の対象にはならない。

フィンランドのインクルーシブ教育



<https://www.sensei-no-gakkou.com/article/no0041/>

Frisila 小学校の概要

※2016年視察時

- 130名の児童 に対し、 9名の教師
- 通常学級6クラス（**20名/クラス**）、特別支援1クラス（10人）
- 校長先生が特別支援教育の専門家：週10時間授業を担当
- 通常学級の担任が6名（そのうち1名は副校長）、特別支援学級1名。
- 看護師（週1）、ソーシャルワーカー（週1）、心理士（週1、AM勤務）⇒市で採用し、各学校を巡回。
- その他スタッフ：補助員2名（フルタイム）、校長の秘書（週に2回）、掃除のスタッフ、給食のスタッフ

個別の目標設定

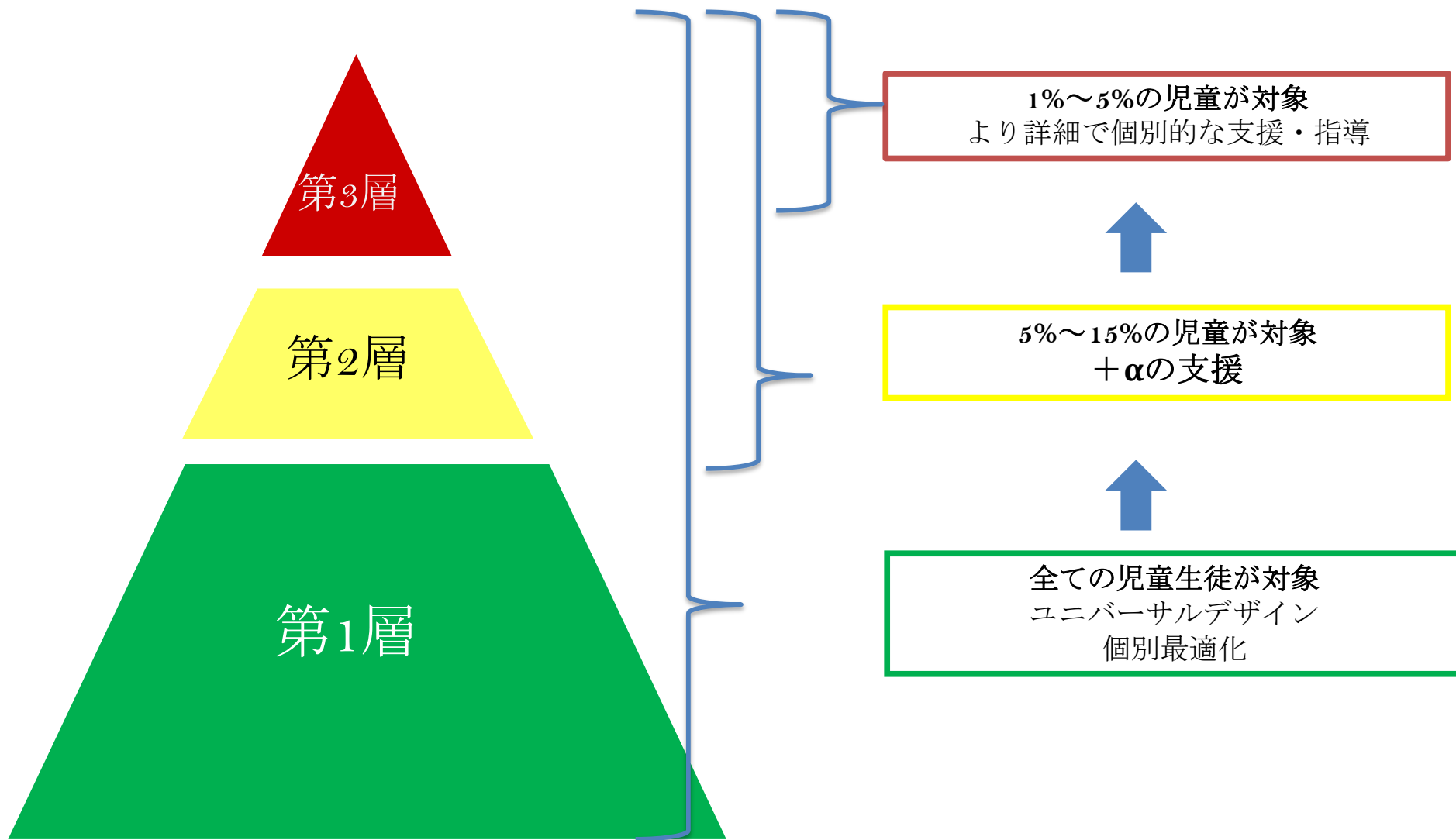
- 通常の学級においても一人ひとり個別の目標設定をする
 - 毎年2月にアセスメントの実施&振り返り
- 評価（春）
 - 1年～4年生は、定性的な評価
 - 5、6年生は、数値の評価&定性
 - 数値の評価：根拠を定性的に書く

個別発達計画（スウェーデン）

- 2006年からすべての子どもに対して「個別発達計画」の作成義務
 - 学期に1回三者面談を行い、学習面と対人関係面での評価を共有して、今後の支援に関する同意事項をポートフォリオなどのファイルに記していくもの

加瀬（2010）スウェーデンにおける＜個別発達支援計画＞全員策定の論理.東京学芸大学紀要, 61(1), 271-280.

アメリカにおける Response to Intervention

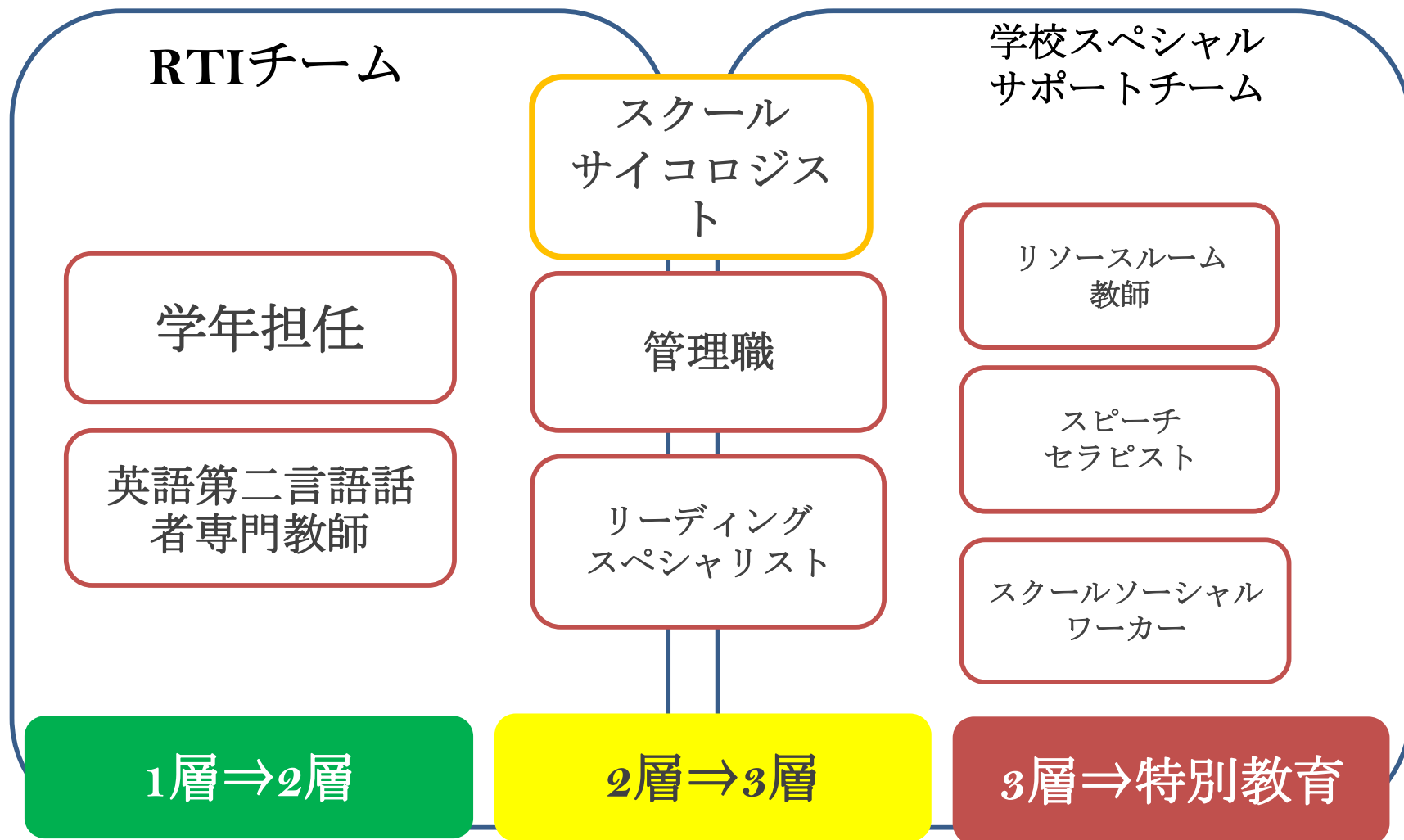


RTI導入に関わる人的資源

教育委員会（LEA）
RTI コーディネーター

※イリノイ州・2011年視察時

※年3回の会議、どの子どもに層の支援が必要か？データを参考に意思決定をする。



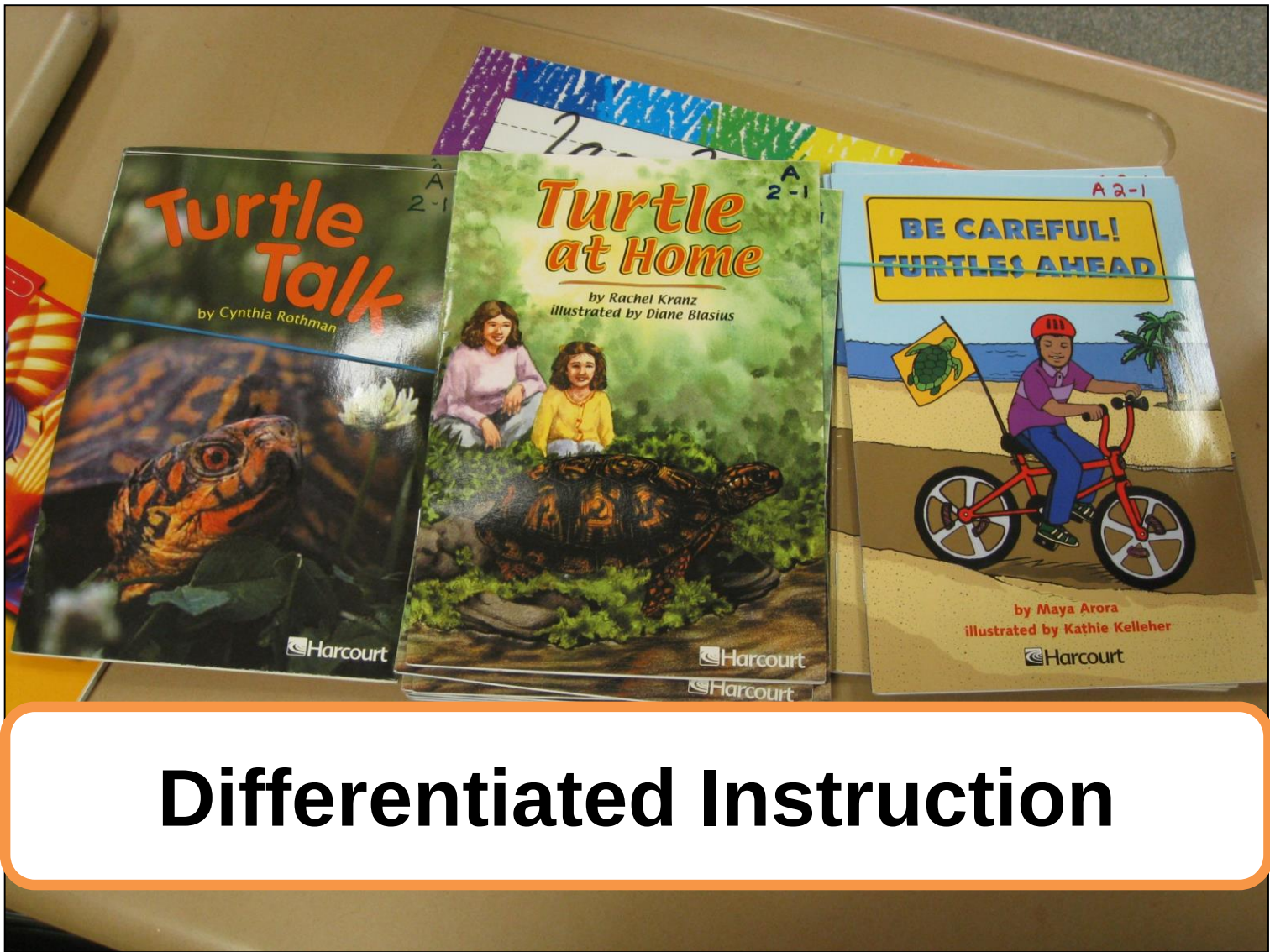
RTIミーティング

児童氏名	読み	算数	通常学級でできる支援 集中プログラム	モニタリング	担当者
A	点数	点数	読み上げ機能活用 読み集中プログラム	読みについて 月2回	Z先生
B					
C					
D					
E					

- ・ 様々なデータを元に3層に分ける
- ・ 介入計画 (Intervention Planning Form)を作る

すべての子どもを対象とした第1層支援 の例

- 1学級あたりの子どもの人数（アメリカ・フィンランド・スウェーデンそれぞれ約20名）
- 通常学級において可能な限りの支援を実践するための助言者や会議体・体制
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導・支援
- 子どもによって難易度や学び方が選択できる
- 個別の計画の作成
- 子どもが学びの主体(owner of learning)



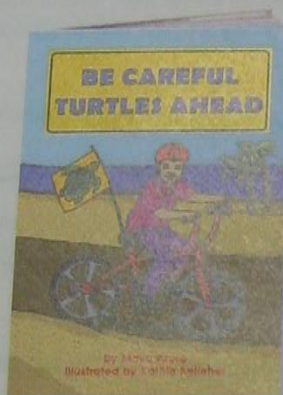
Differentiated Instruction

Guided Reading
OPTIONS



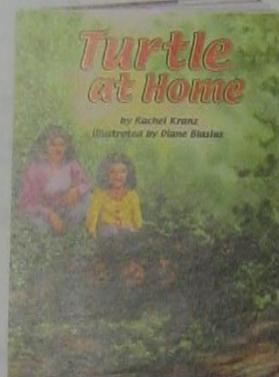
Books for All Learners

Lesson Plans on pages 181M–181P



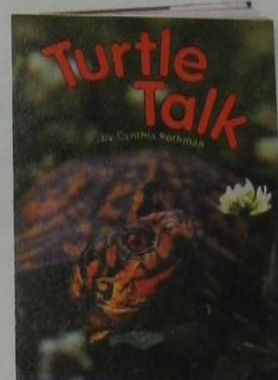
BELOW-LEVEL

- Lesson Vocabulary
- Focus Skill: Author's Purpose



ON-LEVEL

- Lesson Vocabulary
- Focus Skill: Author's Purpose



ADVANCED

- Challenge Vocabulary
- Focus Skill: Author's Purpose



ELL

- Concept Vocabulary
- Focus Skill: Author's Purpose

MULTI-LEVEL PRACTICE

ADDITIONAL RESOURCES

Spelling Practice Book, pp. 27–29

Name _____

Officer Buckle
and Gloria
Vocabulary

- Think about the meaning of each Vocabulary Word in dark print. Write the word in parentheses () that best completes each sentence.

department expression	obeys accident	commands noticed	audience
--------------------------	-------------------	---------------------	----------

- The police **department** is a _____ of the government. (part or direction)
- A dog who **obeys** its owner _____ what its owner tells it to do. (does or does not do)
- Commands** are _____ (instructions or ideas)
- A person's **expression** can be seen on his or her _____ (face or hands)
- If you **noticed** a stop sign, you _____ it. (saw or did not see)
- If you had an **accident** while you were pouring milk, you _____ it. (spilled or drank)
- The **audience** at a movie _____ the movie. (watches or plays in)

- Complete this safety tip with Vocabulary Words.

- 8-9. A person who _____ traffic rules is not likely to have an _____.

Extra Support
Changing Patterns

Name _____

Officer Buckle
and Gloria
Vocabulary

- Read the groups of words on the posters. Write the Vocabulary Word that fits with each group.

department expression	obeys accident	commands noticed	audience
--------------------------	-------------------	---------------------	----------

1. watchers
listeners
viewers

2. feeling
emotion
looks

3. saw
took note of
observed

4. mistake
error
bad luck

5. directions
orders
strong requests

6. group
section
company

- 7-8. Complete this safety tip with Vocabulary Words.

The person who _____ traffic rules is not likely to have an _____.



Make a poster with safety tips for your classroom.

Practice Book
Changing Patterns

Name _____

Vocabulary

Word Wise

Even words with similar meanings can convey different messages. Write some sentences, and then see how their messages can change.

department expression	obeys accident	commands noticed	audience
--------------------------	-------------------	---------------------	----------

What you need:

- pen or pencil
- paper
- index cards



What to do:

- Write one Vocabulary Word on the front of each card. Brainstorm as many synonyms, or words with similar meanings, as you can for each Vocabulary Word, and write them below the word.

- Turn each index card over.

First, write a sentence using the Vocabulary Word. Next, write the same sentence substituting another word or words for the Vocabulary Word. See how you change the message of the sentence.

We heard the teacher's
commands.

We heard the teacher's
suggestions.

Pat knows how to **obey**.

Pat knows how to **follow directions**.

Challenge
Changing Patterns

自分が得意・苦手な 学習スタイルを自己分 析 (5年生)

フラッシュカード、チャートや
グラフを先生が使うとわかりや
すい。

過去に学習がうまくいかなかった
ときは機嫌が悪かった時。先
生がただ読むだけの時もつまら
ない。

教科書の中身がフラッシュカー
ド、ミニゲーム、マッチングゲ
ームなど、別の方法で提示され
ていると学びやすい。

On Past Learning Experiences
I learn best when

the teacher does some educational
fun like Spanish Gollon and flashcards.
I also learn better when the teacher
things in charts and graphs.

In the past, I have not done well when

I am in a bad mood and I am upset. Also, I
don't do as well when the teacher
just reads from the text and nothing
else, because it's boring.

I realize

that I learn better when the
stuff from the text is presented to
me in different ways: flashcards,
memory games, matching games.

I realize
that I learn and get the

発表の流れ

- ① 特別支援教育における個別の計画の作成の現状と課題
- ② LITALICOにおける個別の計画の作成・運用のための体制
- ③ 海外の通常の学級における個別最適化の例
- ④ 学校における個別計画の作成・運用のための提案

特別支援教育・LITALICO・海外の事例を踏まえて

多層型支援

多様性を前提とした全員への支援を充実させ、
段階的に支援を付け足す
データを参考にどの子にどの支援が必要か検討

個別の計画

詳細計画を全員に立てるのは困難
よりシンプルな計画を子どもと共にたてる
システムを活用し情報を構造化・選択肢を絞る

教師あたりの 担当人数

特別支援学級・通級・LITALICO→3～13名
アメリカ・フィンランド・スウェーデン→約20名
学級あたりの人数を減らすのは必須

専門家による スーパービジョン

通常学級でできる限りの工夫を実践するために
専門家による助言が受けられる仕組み

教師のスキル

子どもの願いや思いをヒアリング
選択肢の中から子どもに合わせて選択する、カスタマイズ
データを参考に意思決定をする
教師に必要なスキルを明確に定義する

理想的な体制（案）

- 1学級20名
 - 35人学級からさらに引き下げられるか？もしくは1:20になるように外部人材の活用
- スーパーバイザー常駐（多層型支援の体制整備、助言、育成）
 - 現在の特別支援教育コーディネーターを専任化（現在は校務分掌）し、専門性向上
 - 大規模学校は人数を増やす
- 特別支援教育専門教員（特別支援学級担当）
 - 現在の特別支援学級教員の専門性向上
- 補助員（通常学級における支援充実）
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、各種専門家（作業療法士、言語聴覚士など）が巡回。

【参考】通常学級における個別の計画（案）

1人ひとりのメンタル状況の把握とメンタルケアの提案



1人ひとりの学びの状況の把握と学び方の把握・提案



個々の実態・提案の出力

子どもごと・集団全体の傾向をデータで示す



自己認識

2層・3層が必要な子どもを発見

【参考】通常学級における個別の計画（案）

メンタルヘルス状況の把握とメンタルケアの提案



子ども

check in/ check out

・朝・昼・帰りに入力



保護者
子ども

メンタル状態の質問紙

・半年に1回or1年に1回入力



個別の計画作成



- ・メンタルの傾向
- ・ストレスマネジメント等の提案
- ・自分で書き込めるようにする

個々の
データ

全体の
データ



- ・リスク度
- ・詳細アセスの
推奨
- ・個々への支援
提案

全体への指導内容
の提案
(例：ストレスコ
ーピング・アンガ
ーマネジメント
等)

【参考】通常学級における個別の計画（案）

学びの状況把握と学び方の把握・提案



学び手の プロフィール

- ・スクリーニングテストの結果（読み書き算）
- ・得意な学び方のアンケート
- ・個々の興味関心アンケート
- ・（教科別の進捗、教科ごとのシステムと連動）



個別の計画作成



- ・テスト結果のグラフ
- ・得意な学び方の提案
- ・自分で書き込めるようにする

個々の データ

- ・リスク度
- ・詳細アセスの推奨
- ・個々への支援提案

全体の データ

全体への指導方法の提案
（例：順序立てて教える方が良い、最終的な目的を先に示す方が良い、など）

【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム

計画作成



目黒花子

メニュー

ホーム 学びプラン2022年度 李田莉子さん

学びプラン

2022年度

新年度学びプラン作成 +

年度別学びプランの履歴

学びプランTOP

児童生徒情報

▼ 帳票作成

保護者アンケート

アセスメント

プロフィールシート

個別の教育支援計画

年間評価・引継ぎ

個別の指導計画

1学期



李田 莉子 りたりこ

(女) 2011年 05月 05日 生まれ 5年3組

児童生徒情報を編集



莉子さんの願い：

未登録



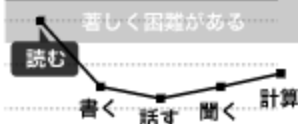
感覚の特性



最終更新：2022/05/13 16:42



学習面の困り



最終更新：2022/05/13 16:42



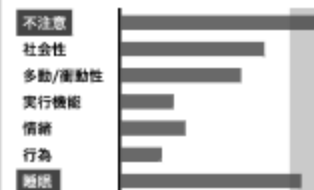
習得目標スキル

- 学習面
 - ◆文章表現をする
 - ◆事実の読み取り
 - ◆文字を読む
- 生活面
 - ◆整理整頓・持ち物管理
 - ◆異い物・金銭管理
 - ◆姿勢・移動
- 対人面
 - ◆気持ちや思考との付き合い方
 - ◆活動や遊びのルール・手順理解
 - ◆場面に合わせた伝え方

最終更新：2022/06/04 15:32



行動の特性



最終更新：2022/05/13 16:42

莉子さん の帳票作成

© LITALICO Inc.

【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム

計画作成



目黒花子

メニュー

ホーム 学びプラン2022年度 李田莉子さん / アセスメント

▼ 帳票作成

保護者アンケート >

アセスメント >

プロフィールシート >

個別の教育支援計画 >

年間評価・引継ぎ >

個別の指導計画 ^

1 学期 >

2 学期 >

3 学期 >

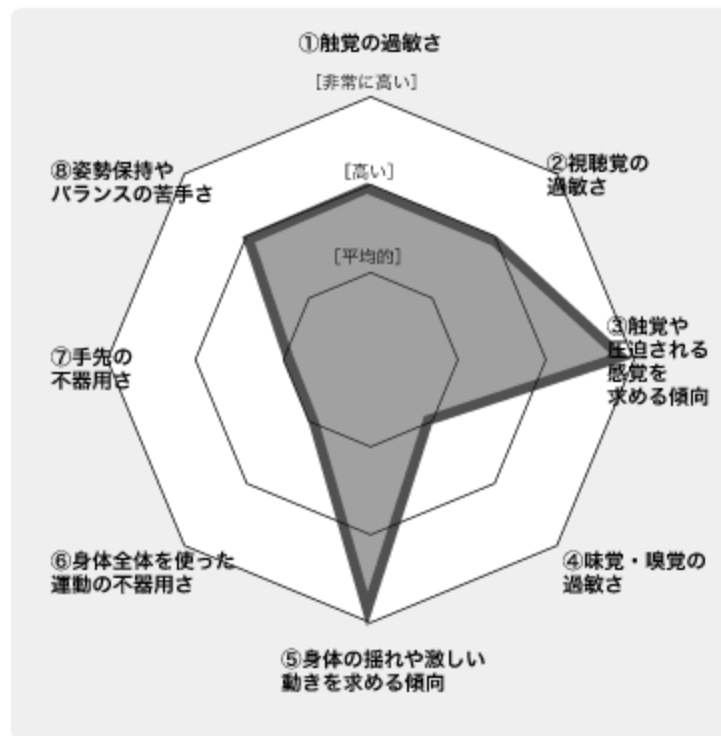
期末評価 v

莉子さんの 感覚特性 について

りこさん2回目... 2022/05/13

実施

[非常に高い]、[高い]、[平均的] の3段階評価となっています。



①触覚の過敏さ

触覚刺激や人に触れられることが苦手。特定の刺激を繰り返す傾向がある

②視聴覚の過敏さ

視覚・聴覚の刺激に対する過敏さがある

③触覚や圧迫される感覚を求める傾向

特定の触感や圧迫、振動などを好む傾向がある

④味覚・嗅覚の過敏さ

特定の食感や匂い、味などに対して過敏な傾向がある

⑤身体の揺れや激しい動きを求める傾向

揺れや回転の影響を受けにくく、強い刺激を求める傾向がある

⑥身体全体を使った運動の不器用さ

身体全体を使った運動に不器用さが見られる傾向がある

⑦手先の不器用さ

手先が不器用で道具操作や細かい作業が苦手な傾向がある

⑧姿勢保持やバランスの苦手さ

姿勢保持やバランスを取ることが苦手な傾向がある

© LITALICO Inc.

【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム

計画作成



目黒花子

メニュー

ホーム 学びプラン2022年度 李田莉子さん / 個別の教育支援計画

カスタマーサポート

【受付時間】

9:30-17:30 (土日祝除く)

【電話】

050-3138-4614

【メールアドレス】

iep_sys4school

@litalico.co.jp

困ったときはこちらから



<https://junior.litalico.jp/>

願い

児童生徒
本人の願い

児童生徒本人からヒアリング、または児童生徒の様子から本人の願いを想定し、その内容を記載してください。

保護者の
願い

お友達と楽しくお話ができるようになってほしいです。特に、お友達の話聞くこと、穏やかに会話することができるようになれば嬉しいです。

児童生徒の実態

家庭での様子

好きなこと
得意なこと

身体を動かすのが好きです。いろんな人に話しかけることが得意です。

嫌いなこと
苦手なこと

やさしい口調で話すことが苦手です。人の話を黙って聞くことも難しいです。

学校での様子

好きなこと
得意なこと

児童生徒本人からヒアリング、または児童生徒の様子から本人の願いを想定し、その内容を記載してください。

嫌いなこと
苦手なこと

児童生徒本人からヒアリング、または児童生徒の様子から本人の願いを想定し、その内容を記載してください。

ページ内移動

支援の目標

© LITALICO Inc.

【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム

計画作成



目黒花子

メニュー

ホーム 学びプラン2022年度 李田莉子さん / 個別の教育支援計画

支援の目標

【要確認】児童生徒の支援の目標について、保護者・児童生徒と合意をとる必要があります

長期目標

児童生徒本人の観察、また保護者からヒアリングした内容に基づき分析した、児童生徒の「特性」を踏まえ確定した目標を記載してください。

短期目標

児童生徒本人の観察、また保護者からヒアリングした内容に基づき分析した、児童生徒の「特性」を踏まえ確定した目標を記載してください。

支援の目標に対する、支援の内容

学校での支援内容

【要確認】児童生徒の将来像の内容について、保護者・児童生徒と合意をとる必要があります

保護者の要望

困ったときに相談できる人や落ち着ける場所を確保してほしいです。在籍学級でも莉子さんの特性を理解した対応をお願いしたいです。

児童生徒本人の観察、また保護者からヒアリングした内容に基づき分析した、児童生徒の「特性」を踏まえ確定した配慮の内容を記載してください。

家庭・関係機関での支援内容

家庭

朝起きて学校に行くまでにしなければならないこと（歯磨きとか）と時間をイラストで示して壁に貼っています。家事のお手伝いを自発的にやってくれた時はきちんと褒めるようにしています。

りたりこジュニア
ソーシャルスキルトレーニング（自分の気持ち

ページ内移動

© LITALICO Inc.

【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム

計画作成



目黒花子

メニュー

ホーム 学びプラン2022年度 李田莉子さん / 個別の指導計画 (1学期)

支援の目標

長期目標

様々な人と円滑にコミュニケーションできる力を身に付ける

短期目標

- ・状況に応じて自分の欲求よりも、今すべきことを優先することができるようになる
- ・先生やお友達に間違いの箇所を指摘されても、認めて修正することができる



教科/領域別の目標・指導内容

教科・領域等	今学期の目標	指導場面	指導内容
自立活動	未入力	未入力	未入力

+ 項目を追加

備考

サンプルテキスト

ページ内移動

© LITALICO Inc.



【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム


<https://junior.litalico.jp/>

苦手なこと	容（あらすじ）をつかんだりまとめたりすることが難しい。
-------	-----------------------------

合理的配慮

- ・ 声かけなどに気づきにくい場合、耳に触れる、視界に入る、などで注意をひく
- ・ スケジュール表、手帳表などを用いて、時間の構造化を行い、提示する

支援の目標

長期目標	サンプルテキストサンプルテキストサンプルテキスト
短期目標	・ 状況に応じて自分の欲求よりも、今すべきことを優先することができるようになる

 児童生徒の実態や
いい。

前年度の

教科・領域等
あ |

自立活動

備考

サンプルテキスト

作成日

年

月

関係者

未入力

教科/領域別の学期目標

 短期目標に関連のある
文例から探す

■その他の方法で事例を探す

 普段の様子・困り行動
から探す

 **アセスメント結果から探す**
※アセスメントを実施していない場合は
こちらから

 キーワード検索

 学習指導要領から探す

© LITALICO Inc.

【参考】LITALICO学校版個別の学び支援システム

就学準備 特集 ゲーム感覚で学べて楽しい！ひらがなとかずの基礎

ピックアップ 19 件



右から2番目は
ひつじです

果物と動物でチャレンジ！
見本と同じに並べて

年長～小2 就学準備
集団向き 遊び・ゲーム



ぶ・ど・う

ことばすごろく（音韻の分
解）

年長～小2 集団向き
遊び・ゲーム



皆でビンゴカード作り！
「数字のうっし書き」

年長～小2 就学準備
集団向き 遊び・ゲーム



「ものの名前を書こう」で
神経衰弱カードを作...

年長～小2 就学準備
集団向き 遊び・ゲーム

Page TOP



うれしい、どれ？

表情カードで「気持ちの表
す言葉の理解」

幼児・小学生 集団向き
遊び・ゲーム



どんな気持ち？

場面カードで学ぶ！気持ち
の言葉を増やそう

小・中高生 集団向き



きもちのおんどけ

今ここかな？

今の気持ちは？気持ちの変
化をモニタリング

小・中高生 集団向き



あの時どうすればよかつ
た？視覚的に振り返る

小・中高生

Page TOP